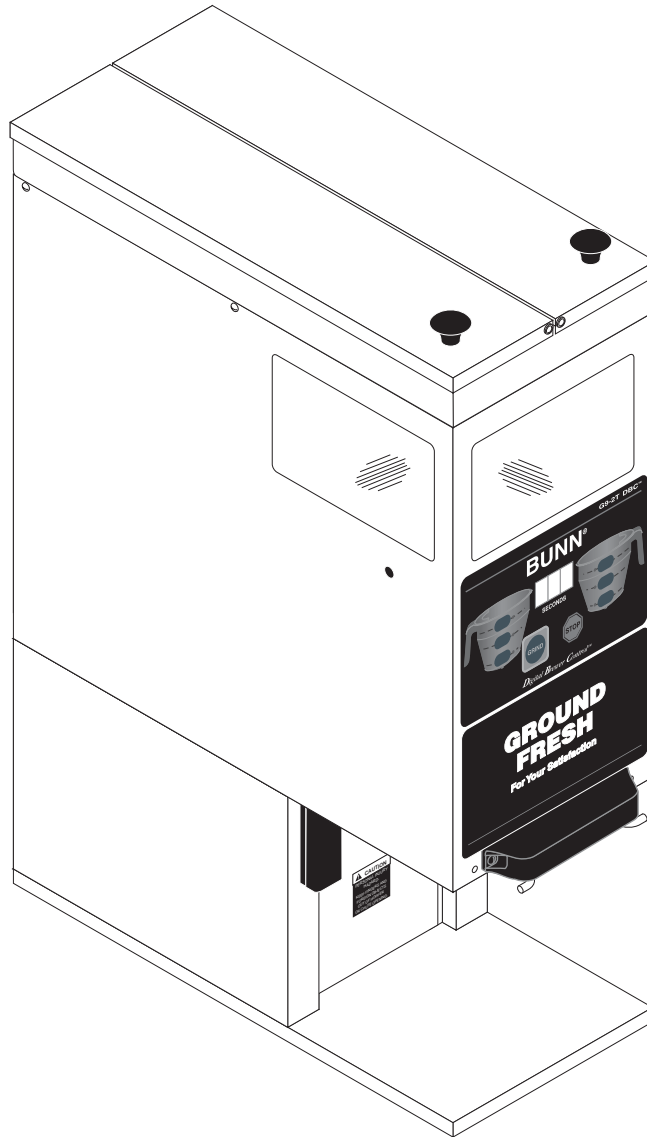


BUNN®

G9-2T DBC Smart Funnelの 使用方法



取り付けおよび操作マニュアル

BUNN-O-MATIC CORPORATION

POST OFFICE BOX 3227

SPRINGFIELD, ILLINOIS 62708-3227

電話 : (217) 529-6601 ファクス: (217) 529-6644

目次

使用上の注意	3
使用電力	3
操作管理	3
初期設定	4
クリーニング	4
コーヒーを挽く	4
調整	4
ブリュワーへの伝達	5
タイマーの調整(制御盤)	6
配線図	7

はじめに

この装置は、2ホッパーごとに最大2700グラムの挽いていないコーヒー豆を入れ、あらかじめセットされた細かさや量で豆を挽いて下の漏斗に落とし、市販のドリップコーヒーフィルタを使用するものです。この装置は室内のしっかりとしたカウンターや棚の上でのみ使用してください。豆を追加するときに蓋を持ち上げることができるようにするため、グラインダーの上にはその分のスペースが必要です。コーヒー豆は挽いていないものだけを使用してください。

豆の細かさは米商務省の規定でパンアメリカンコーヒービューロー(Pan American Coffee Bureau)に採用されている仕様に合わせてドリップされるようにあらかじめ設定の上、工場出荷されています。初期設定の量と豆の細かさを変更したいときはこの設定を調節できます。

注 次の保証に関する説明書はあくまでも参考資料です。法的効力は英語版にあります。

BUNN-O-MATIC商品の保証

Bunn-O-Matic Corp. ((BUNN®)は当社が製造したこの機器に対して以下のように保証いたします。

- 1) 以下で指定するものを除くすべての機器：部品は2年間、アフターサービスは1年間
- 2) 電子回路および制御盤：部品、アフターサービスとも3年間
- 3) 冷凍設備のコンプレッサー：部品は5年間、アフターサービスは1年間
- 4) コーヒー豆を挽くためのコーヒーミルのグラインディングバー(出荷時のスクリーン篩分析を満たしています)：部品、修理とも3年間もしくは13,600キログラムのコーヒーの、いずれか早い方。

これらの保証期間は取り付けの日から始まるものとし、BUNNは当社が製造した装置が製造時点においてまた適用可能な保証期間内に、材質または仕上がりに欠陥がないことを保証いたします。本保証はBUNNが製造したものではありません。装置、コンポーネント、または部品、もしくは、BUNNの判断により、装置への損害が、誤用、不注意、改変、不適切な取り付けまたは操作、不適切なメンテナンスまたは修理による損傷、あるいは災害による場合は適用されません。本保証では、購入者が以下のことに従うことを定めます：1) 本保証に従って行うクレームは(217) 529-6601までお電話いただくか、またはPost Office Box 3227, Springfield, Illinois 62708-3227まで郵送いただくことにより、直ちにBUNNに通知してください。2) BUNNが要求する場合、公認のBUNNサービスセンターまで欠陥品を送料前払いで発送してください。3) BUNNから欠陥品が保証期間中であることの事前承諾を受けてください。

前述の保証は排他的であり、その他の書面または口頭による明示的または暗黙的な保証に代わるもので、商業的価値または特定の目的への適合に対する暗黙的保証を含みませんが、それに限定されるものではありません。 BUNNの代理店、販売店または従業員には、本保証を修正する権限、またはBUNNを法的に拘束する追加保証を与える権限がありません。応じて、かかる個人による陳述は、口頭または書面を問わず、保証を構成するものではなく、それに依拠することはできません。

BUNNがその自由裁量で装置が保証内容に適合していないと判断した場合、BUNNは、その限定的な選択肢として、装置の保証期間内であれば以下のことを行います。1) (上に指定した適用部品およびアフターサービスの保証期間内の場合) 無償の交換部品またはアフターサービスを提供して欠陥品を修理いたします(ただし、この修理はBUNN公認サービス代理店により行われます)、もしくは、2) 装置の交換をするか、装置の購入価格を返金いたします。

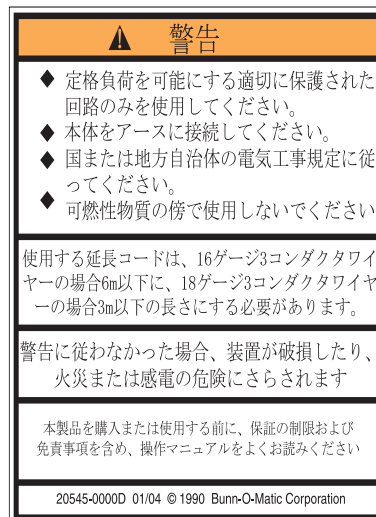
本装置の販売から生じた責務をBUNNが履行しなかったことによる購入者の救済は、保証から派生したものによるよらないに関わらず、BUNNはここで指定したように随意に、修理、交換、返金に限られるものとします。 いかなる場合も、BUNNは利益損失、販売損失、装置使用の損失、購入者の顧客のクレーム、資本コスト、不稼働時間のコスト、代替装置、施設またはサービスのコスト、またはその他の特殊、個別または間接的損害を含め、他のいかなる損傷または損失に対しても責任を負いません。

使用上の注意

グラインダーに付随するすべての通知および本書をよく読み、その指示に従ってください。これら情報はお客様を保護するために書かれたものです。グラインダーに付随するすべての通知は破損しないようにしてください。ラベルが読みにくかったり破損している場合は交換してください。



交換部品
#05876.0000



交換部品
#20545.0000

使用電力

このグラインダーにはコードが組み込まれており、アース接続された定格120V AC、15アンペア、単相、60 Hzの電線2本が必要です。

操作管理

グラインドパッド

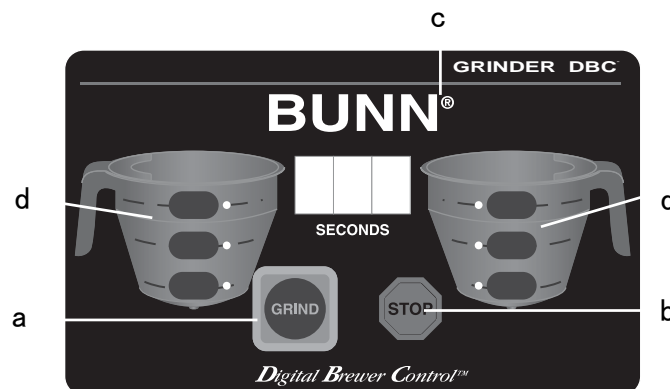
GRIND(グラインド)を押すと、指定した時間にグラインドサイクルが開始します。

停止パッド(b)

STOP(停止)を押すとグラインダーの運転が停止します。

ヨパッド(c)

ヨパッドを押すとプログラミングにアクセスできます
(5ページをご覧ください)。



ホッパー/バッチセレクトパッドバッチ

これらのパッドは、合計で6つあり、グラインダーの各面の漏斗に配置されています。これらのパッドのどれか1つを選択すると、豆を挽く量と挽く面を選択できます。

例：左側の下のパッドを選択すると、グラインダーの左側から十分な豆が挽かれ、あらかじめ設定した量がグラインダーに抽出されます。

制御盤

制御盤は、グラインドサイクルのホッパーに残す豆の量を決定します。タイマー部分を調整して、各ホッパーと各バッチサイズから異なる量を分配することができます。設定値は、0.4から99.9秒まで調節できます。タイマー設定表については、「調整」の項目を参照してください(6ページ)。

初期設定

1. 上蓋を開けます。ホッパー内部およびグランド部への入り口から、すべての異物と梱包材料を取り除いてください。
2. グライNDERをコンセントにつなぎます。
3. 両方のホッパーに挽いていないコーヒー豆を入れます。(最大容量各6ポンド)。これでグライNDERを使用する準備が整いました。

クリーニング

Bunn-O-Matic機器の表面をクリーニングするには、非摩擦製の、中性洗剤で湿らせた布を使用するようにお勧めします。研磨剤でホッパーや窓を傷つけないように注意してください。定期的にクリーニングすると、長期にわたってグライNDERを新品の状態に保つことができます。

コーヒーを挽く

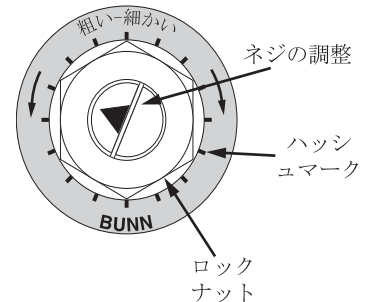
1. 挽いていないコーヒー豆を十分に入れたホッパーを選択し、目で確認します。
2. ペーパーフィルターを抽出漏斗に取り付けます。フィルターは折り畳んだり、一方に傾いたりしないようにしてください。
3. 漏斗を漏斗レールに挿入し、止まるまで押しこみます
4. 使用するバッチサイズとグライNDERを選択します。
5. GRIND(グランド)を押します。事前に設定された量のコーヒー豆が挽かれて漏斗に分配されると、グランド動作は自動的に停止します。

調整

グランドは、極細挽きから粗挽きまでさまざまな設定ができます。豆の量は、市販のコーヒーメーカーで使用するために調整できます。調整を行うには、次の手順にしたがってください。バー調整を変えると、分配される量も変わります。バーを調整した時は、引き続きタイマーを調整する必要があります。

バーの調整

1. グライNDERのプラグを抜き、豆を取り除いてホッパーを空にします。
2. グライNDERのプラグを差し込み、GRIND(グランド)を押してから放します(どちらかのホッパーを選択)。グランド部のコーヒーをすべて使い切ってしまうまで、グランドサイクルを数回実行します。
3. 右上の点検パネルを取り外します。
4. ロックナットを1度回して緩めます。
5. GRIND(グランド)を押し、グランドバーから摩擦音による金属音が聞こえるまで、調整ネジを右方向にゆっくり回します。(この音が聞こえるまで、複数回のグランドサイクルが必要となる場合があります)。
6. グランド調整ネジの矢印の位置を定めるために、調整目盛りでペンでしるしをつけます。
7. 次の設定は、CBCが承認したグランドにほぼ対応しています。すべての設定は6.で定めた矢印の位置から参照されます。



P2321

細挽き: 調整ネジをハッシュマーク7まで左方向に回転します。

ドリップ挽き: 調整ネジをハッシュマーク8まで左方向に回転します。

標準(粗)挽き: 調整ネジをハッシュマーク12まで左方向に回転します。

8. ロックナットを締めている間、ドライバーを使用して設定位置の調整ネジが動かないようにしてください。

コーヒーメーカーとの連動

グラインダーを対応するコーヒーメーカーとともに使用する場合は、抽出されるコーヒーの名前とサイズがコーヒーメーカーに設置された漏斗ハンドルのチップを通してコーヒーメーカーに伝達されます。そのため、ホッパーに取り付けたコーヒーの名前をグラインダーに「知らせる」ことが必要になります。名前は以下に示すコーヒーチャートから選択することができます。名前がチャートにない場合は、工場にお問い合わせください。

コーヒー名の選択

下のチャートからコーヒー名を入力します：

1. STOP(停止)ボタンとプログラムする面にある3つのバッチボタンの1つを同時に押し下げます。3秒後、選択した面の3つのインジケータが点滅します。ディスプレイには、下のコーヒーチャートの数字が表示されます。この数字は、ホッパーに入れるコーヒー名を表します。
2. GRINDを押して放すと数字が増え、STOPを押して放すと数字が減ります。
3. 使用するコーヒー名の番号が表示されたら、もう一方のバッチボタンのどれかを押しします。その側の3つのインジケータが点滅します。
4. ステップ2を繰り返して、この面で使用するコーヒー名前を入力します。
5. 設定モードを終了するには、この手順のどこかで \odot ボタンを押して放します。 \odot ボタンは非表示のプログラミングパッドで、BUNN \circledR ロゴの右上にあります。

RECIPE CARDを使用してコーヒー名を入力します。

1. STOPボタンを押して、カードのチップ部分を、グラインダーの正面のセンサーコイルの下に設置します。
2. 少し間を置いて、ディスプレイに3つの「ダッシュ(-)」が示されます。
3. カードを取り外し、プログラムする側のバッチスイッチのどれかを押しします。
4. グラインダーに入れたコーヒー名の番号がディスプレイに表示されます。
5. グラインダーのディスプレイが通常の動作モードに戻ります。

注：下のチャートから番号選択してグラインダーに入力した場合、入力した数字がチャートのコーヒー名を示しているかどうかを確認します。

1. に豆を漏斗に挽き、次にその漏斗をコーヒーメーカーの漏斗レールに挿入します。
2. ディスプレイが、漏斗に入ったコーヒー名を読み取ります。
3. この名前がチャートの名前と異なる場合は、グラインダーの目盛をリセットする必要があります。

グラインダーの目盛を(下のチャートに一致するように)リセットする

1. コンセントからグラインダーのプラグを抜きます。
2. STOPとGRINDボタンを同時に押し下げ、コードセットをコンセントに差し込みます。しばらくすると、3つのダッシュ記号、その次に99つのダッシュ記号が表示されます。
3. 9つのダッシュが表示されたら、STOPとGRINDボタンを放し、STOPボタンを押して放します。
4. ディスプレイがカウントダウンを開始し、通常の動作モードに戻ります。グラインダーは、下のチャートの数字に対応したコーヒー名と一致するように設定されます。

コーヒーチャート

番号	名前	番号	名前
1	標準	15	ジャマイカ・ブルーマウンテン
2	カフェイン抜き	16	グアテマラ
3	コロンビア	17	極浅煎り
4	コロンビアスプレモ	18	深煎り
5	コスタリカ	19	エスプレッソ
6	エチオピア	20	アマレット
7	コナ	21	ヘーゼルナッツ
8	ケニアAA	22	フレンチバナナ
9	スマトラ	23	アイリッシュクリーム
10	フレンチロースト	24	バナナナッツ
11	イタリアンロースト	25	キャラメル
12	モカジャバ	26	ラズベリー
13	ハウスブレンド	27	アーモンド
14	ブラックファーストブレンド	28	ダークマウンテンロースト

タイマーの調整(制御盤)

各ホッパーに対して、3つの異なるバッチ設定を選択できます。各バッチは、豆がグラインド部に落ちるようにするためのスライドゲートが開く時間を設定することで、個別に調整可能です。各バッチの2番目の設定は、スライドゲートが閉じた後グラインドモーターが作動する時間の長さを決定します。この時間には、グラインド室に落ちるすべての豆がすべて確実に挽かれ、分配されるのに十分な時間を設定します。

1. グラインド設定を決定します。(出荷時の設定はdripで、他の設定にする場合は、前項を参照してください)。
2. 下の表を使用して、希望するコーヒーの豆の粗さおよび量に近いタイマー設定を参照してください。
3. 設定モードを入力して調整を行うには、⑥の下に非表示プログラミングパッドを押し下げます。バッチインジケータの1つが、ゆっくりと点滅を開始します。この時点で、ヨボタンを放します。
4. 調整するバッチのホッパー/バッチセレクトボタンを押します。デジタルディスプレイに、現在のスライドゲート時間設定(秒)が表示されていることを確認してください。
5. 時間を長くするには、GRINDを押します。短くするには、STOPを押します。
6. グラインド部のクリーンアウト時間を変更するには、同じボタンをもう一度押します。その際にインジケータランプがすばやく点滅を開始し、現在のクリーンアウト時間が示されます。
7. 時間を長くするには、GRIND を押し、短くするには、STOPを押します。
8. クリーンアウト時間を入力した後、他のバッチパッドを押し、ステップ4から7を繰り返します。また、プログラミングモードを終了するには、⑥パッドを押し放します。グラインダーは新しい設定を適用して、通常の動作モードに戻ります。

注：設定モード中に、60秒間ボタンが押されない場合は、グラインダーが通常の動作に戻り、設定モードの間に行った設定を維持します。

おおよそのタイマー設定(秒で)

重量 (オンス)	細い (7*)	ドリップ (8*)	通常 (12*)
1.5	0.5	0.5	0.5
1.75	0.7	0.6	0.6
2.0	1.0	0.8	0.8
2.25	1.4	1.4	1.2
2.5	1.9	1.8	1.6
2.75	2.4	2.2	2.0
3.0	2.9	2.7	2.5
3.25	3.3	3.1	2.9
4.0	4.8	4.4	4.0
6.0	8.6	7.9	7.5
8.0	12.0	11.5	10.9
10.0	15.7	15.1	14.1
12.0	19.6	18.5	17.5
14.0	23.5	22.0	20.9
16.0	27.0	25.3	24.3

*ハッシュマーク設定。「パーの調整」項を参照してください。

配線図

SMART FUNNEL®(DBC)付きG9-2

